

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 軌道修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容) 軌道施設の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	フルライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 軌道修繕 部品材料 施設区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 30	
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 川和保守管理所	
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 今野・阿部	

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 軌道修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、後藤

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	914,286	863,102	51,184

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
1 材料補充	215,171

(1 事業目的・内容)

- (1)レール購入
令和2年度レール交換事業で使用するレールを購入します。
- (2)マクラギ購入
令和2年度軌道整備事業で使用するマクラギを購入します。交換周期の見直しのため、購入金額が減額しています。
- (3)締結装置購入
令和2年度締結交換事業で使用する締結装置を購入します。
- (4)分岐器ほか購入
上永谷車両基地分岐器交換事業分の7番片開き分岐器(#90)を購入します。
また接着絶縁についても令和2年度に購入します。
- (5)軌道用品一式購入
直営作業用の継目板や犬釘といった軌道用品を購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	234,195	215,171				
債務負担設定	5,544					

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、岩崎

(単位:千円)

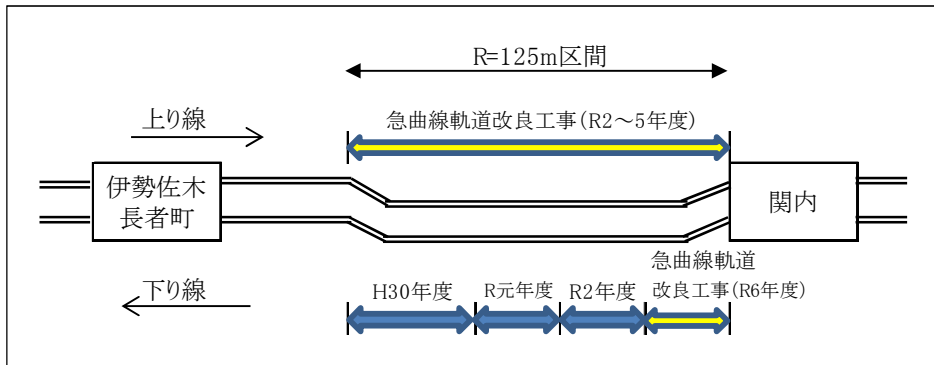
【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 軌道整備	202,527

(1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかります。すると、軌道に変位が生じ、そのまま放置しておくと、軌道部材(レール等)の歪みや劣化が早くなり、列車走行に支障をきたす恐れがあるばかりでなく、軌道材料の交換周期が短くなることになります。そこで、軌道の変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

- ・軌道整備工Ⅰ(マルタイによる突き固め整備) 7,513m
軌道整備工Ⅰの施工区間には、急曲線部分で定期的(3年毎)に施工する区間と、10年計画にて全線突き固めが完了の区間と、軌道検測データ等により施工を決定する区間があります。
急曲線部分は、戸塚～舞岡駅間、岸根公園駅～新横浜駅間の上下線になります。
- ・軌道整備工Ⅱ(人力による突き固め整備) 2,497m
軌道整備工Ⅱの施工区間には、上永谷分岐器周り区間の突き固め(2年及び8年周期)及び、関内～伊勢佐木長者町の125R区間があります。
- ・軌道整備工Ⅲ(車両基地人力による突き固め整備) 1,619m
上永谷車両基地の9年周期(R元年度上永谷基地まくらぎ交換分含む)部分の突き固めを行います。
- ・排水溝清掃工 2,840m
軌道の道床排水溝に滞積した遊離石灰や粉塵等による排水不良は、悪臭等の原因となるため排水溝を清掃し、駅の環境改善に努めます。
- ・道床清掃工 1,500m
軌道の道床に滞積した綿埃等による発煙や発火事故を抑止するため、清掃します。
- ・道床及びまくらぎ交換工 1式
関内～長者町間のR125区間において、道床碎石(バラスト)の細粒化や固着が起きているため交換します。
また、道床交換に合わせ、損傷が進んでいるまくらぎについても交換します。
(下り線222mを3年間(H30～R2年度)で施工: R2年度=55m施工)
なお、上り線及び下り線(関内方)についてはR2年度から急曲線軌道改良工事に着手します。

《R125区間 道床・まくらぎ 交換計画》
・H30年度:下り線(長者町方) ・R元年度:下り線(中間) ・R2年度:下り線(中間)



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	230,236	202,527				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：31 軌道修繕費	所属：施設課 担当者：内田、加藤

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 レール交換	286,616

(1 事業目的・内容)

●レール交換工

- ①レール交換の長期計画に基づき、レールの交換を行います。(3492sm)
 - ・下り 関内～長者 615sm ・上り 新羽～仲町 541sm ・上り 関内～長者 336sm
 - ・上り 上町～片倉 750sm ・上り 新羽～仲町 1250sm
- ②直営による巡回点検やレール検査等により損傷等が確認されているレールの交換を行います。(3546sm)
- ③横浜三ツ沢下町(上下)軌道改良工事のレール交換工事。(961sm)
- ③桜木町・高島町(下り)高軌道改良工事のレール交換工事。(税率8%分)
 - ・レール溶接

●埋込栓補修工 50か所

〈事業費内訳〉				(千円)
レール交換事業	単価	数量	単位	金額
工事費				
①レール交換工		1	式	
②レール交換工		1	式	
レール溶接		1	式	
埋込栓補修工		50	か所	
軌道工事諸経費				
軌道工事計				
電気工事(諸経費含む)				
計				
③軌道改良分レール交換工(横浜・下町(上下)軌道改良)				
③軌道改良分レール交換工(桜・高(下り)軌道改良)(税8%分)				
レール交換事業計				
消費税及び地方消費税額(10%)				
消費税及び地方消費税額(8%)				
合計				286,616

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	253,120	286,616				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
4 締結装置交換	

(1 事業目的・内容)

・締結装置交換工 3,475m

締結装置は、バネ・ボルト・ゴム等で構成されている軌条部品です。レールとマクラギを締結する締結装置は、列車走行の繰り返し荷重を受けることと、経年劣化による締結力不足により軌間拡大・縮小が発生し、限度を超えると列車の脱線事故に至るため定期的に交換を行います。また、漏水区間のような腐食環境にある締結装置は、電食による損傷が生じるため長期計画に則り締結装置の交換を行います。

施工場所	施工延長	締結種類
・上永谷～港南中央(上り)	235m	YP-1 235m
・横浜～三ツ沢下町(上り)	415m	YP-1 415m
・横浜～三ツ沢下町(下り)	407m	YP-1 407m
・岸根公園～新横浜(下り)	551m	YP-1 551m
・仲町台～センター南(上り)	361m	YP-1 361m
・センター北～中川(上り)	619m	YP-1 619m
・センター北～中川(上り)	387m	YP-1 387m
・塩害区間	500m	YS-1 500m

<事業費内訳>

	締結種類別延長(m)				施工延長 (m)	施工金額 (千円)
	YP-1	YS-1	YS-2	YS-3		
令和元年度					2,867	51,163
令和2年度					3,475	
令和3年度					3,359	
令和4年度					3,563	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	51,163					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田、難波	

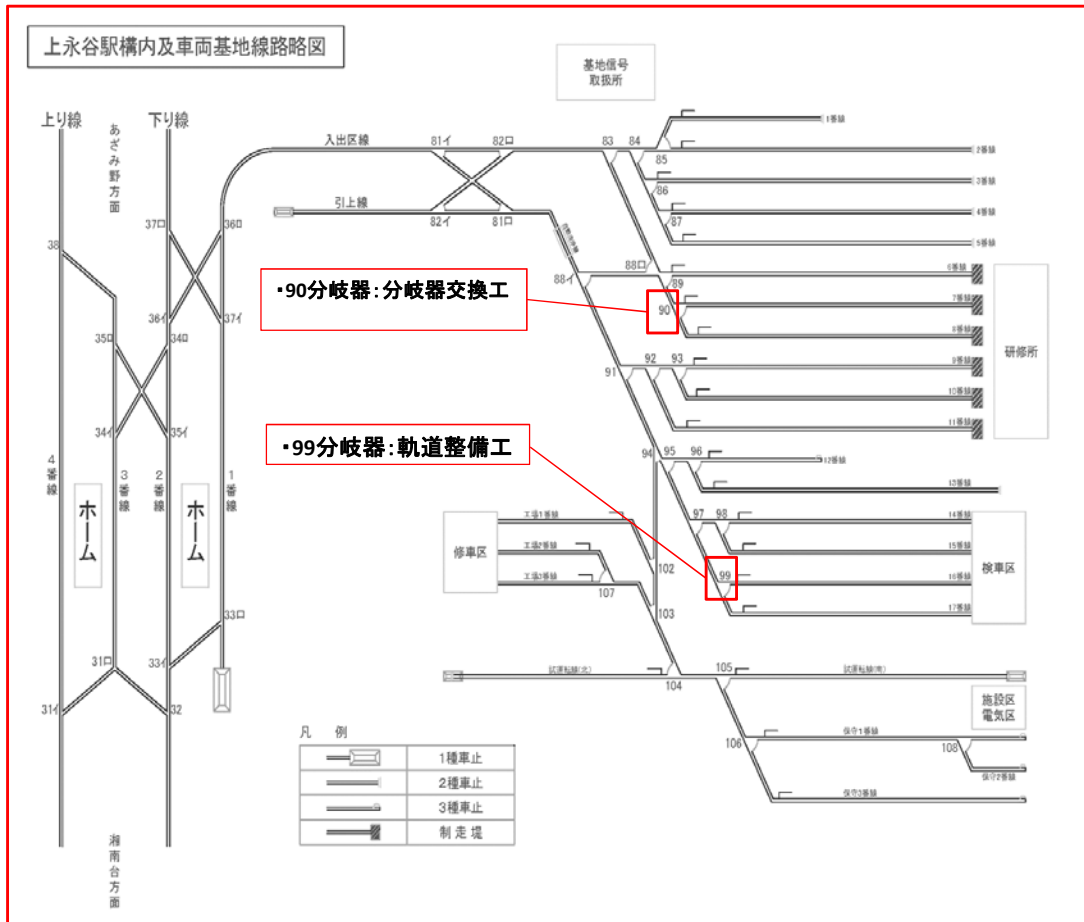
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 上永谷車両基地分岐器交換	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地内に設置されている老朽化した分岐器について、計画に基づき交換します。
また、前年度交換した分岐器部についても道床安定化のため、軌道整備を行います。

- ・分岐器90 : 分岐器レール類交換、道床交換、マクラギ交換、軌道整備
- ・分岐器99 : 軌道整備(R元年度交換箇所)



上永谷車両基地分岐器交換計画

年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
交換分岐器	99番	90番	86番	84番	94番	87番	85番	85番

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	22,452					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当		
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課		
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田、難波		

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
6 レール探傷	

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部からき裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及びレール内の傷の状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (あざみ野～湘南台間上下線 延長 約81.2km)
牽引式超音波レール探傷器によりレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。
- ・レール探傷2次検査 30箇所
1次検査の結果により、2次検査(詳細調査)を行います。
- ・トングレール検査(あざみ野～湘南台間上下線 分岐部)
超音波レール探傷器により、トングレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

<事業費内訳>		(千円)	
		R2	備考
レール探傷検査			
	レール探傷1次検査		
	レール探傷2次検査		
	小計		
	諸経費		
	計		
トングレール探傷検査(諸経費込)			
	計		
	税抜計		
	消費税		
	合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・トングレール検査を追加しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	27,588					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
7 レール削正	

(1 事業目的・内容)

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸(波状摩耗)が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。
また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。
以上、お客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

・レール削正(5,000m)

車内環境改善及びレール延命(シェーリング箇所及び波状摩耗箇所)
お客様対応(振動・騒音対応)区間

・溶接継目落ち箇所の部分削正(削正数量 25か所)

溶接継目が経年劣化により落ち込んでしまったため、継目音が発生しています。
継目音低減と溶接継目損傷を防止するため、溶接部を部分的に削正し継目部を平滑に仕上げます。
・3号線地上部(上下)及び 苦情対応:25箇所

<事業費内訳>

(千円)

	R2	備考
レール削正		
レール削正		
溶接部削正		
諸経費		
税抜金額		
消費税及び地方消費税額		税率10%
税込金額		

(2 前年度から変更・見直した点)

溶接部削正を追加しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	44,348					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、後藤

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	115,040	101,861	13,179

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料補充	12,873

(1 事業目的・内容)

- (1)レール購入
レールの予備品を購入します。
- (2)分岐器用材料購入
基地内トンゲレールの予備品を購入します。
日吉SC、中山SC、センター北、川和分岐器ガードレールの予備品を購入します。
- (3)摩擦調整材購入
現在グリーンラインに設置されている摩擦調整材塗布装置6台に使用する、摩擦調整材を36缶購入します。
- (4)軌道用品購入
レール交換に備えて段違継目板や軌道パッドを購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	19,828	12,873	20,872	20,872	20,872	95,317
債務負担設定	0					

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、後藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 軌道整備	

(1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかると軌道に変位が生じ、そのまま放置しておく軌道部材(レール・締結装置等)の経年劣化を早めるばかりか、軌道材料の交換周期が短くなり、軌道変位を助長し最終的に列車走行に支障をきたします。軌道変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

・軌道整備工(車両基地内人力による突き固め整備)
軌道保守長期計画に則り、車両基地の約1/6を整備(道床搗き固め)します。

軌道整備工	元年度予定	2年度予定	3年度予定	4年度予定
留置線等(m)	542	382	380	380
分岐器(基)	4	4	4	4

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	5,853					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：31 軌道修繕費	所属：施設課 担当者：内田、難波

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 レール探傷	

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部からき裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及びレール内の傷の状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (中山～日吉間上下線全線 延長 約25.6km)
牽引走行式超音波レール探傷器によりレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。
- ・レール探傷2次検査 10箇所
1次検査の結果により、2次検査(詳細調査)を行います。
- ・トングレール検査 (中山～日吉間上下線 分岐部)
超音波レール探傷器により、トングレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

<事業費内訳> (千円)

	R2	備考
レール探傷検査		
レール探傷1次検査		
レール探傷2次検査		
諸経費		
計		
トングレール探傷検査(諸経費込)		
計		
税抜計		
消費税及び地方消費税額		
合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・トングレール検査を追加しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	10,427					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
4 レール削正	

(1 事業目的・内容)

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸(波状摩耗)が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。
また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。
以上、お客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

- ・レール削正(5,000m)
車内環境改善及びレール延命(シェーリング箇所及び波状摩耗箇所)
お客様対応(振動・騒音対応)区間

<事業費内訳>

(千円)

	R2	備考
レール削正		
レール削正		
諸経費		
税抜金額		
消費税及び地方消費税額		税率10%
税込金額		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	46,946					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 諸構築物修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容) 構築施設の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	20	19	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	20
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 20	
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予算額	10	10	0

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	10
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 10	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
<p style="text-align: center;">緊急の諸構築物及び諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	263,131	252,680	10,451

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	18,560

(1 事業目的・内容)

- ・上下 横浜～三ツ沢下町間の軌道改良工事で排水溝蓋撤去設置工に使用する材料の購入(810枚)
- ・トンネル内に敷設してある排水溝の蓋のうち、錆による腐食がみられるものを交換します。(直営分20枚)
- ・その他、諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。



排水溝蓋(アンチスリップ鋼板)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	11,153	18,560				29,713
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田・千葉

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
2 構造物検査委託	

(1 事業目的・内容)

- ・構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰを行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全維持を行うことを目的に通常全般検査Ⅱ(状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・下永谷・片倉・吉田町トンネルのクラック幅の測定を行い、トンネル変状の追跡を行います。

※令和2年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	1号線 関内～湘南台	十分な照明を用いての徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	1・3号線 湘南台～あざみ野	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の目視及び打音検査
山岳トンネルひび割れ測定	下永谷・片倉・吉田町トンネル	パイゲージ設置、クラック幅の測定、追跡調査

構造物検査計画表

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
複数年契約	2年契約		単年	単年	2年契約		2年契約		2年契約				
■通常全般検査Ⅰ													
1号線(関内～湘南台間)		○		○		○		○		○		○	
3号線(あざみ野～関内間)	○		○		○		○		○		○		○
4号線(中山～日吉間)	○		○		○		○		○		○		○
CADデータ更新				○	○	○							○
■特別全般検査													
1号線(関内～湘南台間)							11.01km	17.93km					
3号線(あざみ野～関内間)				6.4km	10.12km	18.79km	○	○					
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査Ⅱ(個別検査)													
1号線(関内～湘南台間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号線(あざみ野～関内間)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4号線(中山～日吉間)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■通常全般検査Ⅱ(シールドキャップ)													
4号線(中山～日吉間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・通常全般検査Ⅱ(個別検査)回数を増加した。2年に1回から3回へ増加。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	78,421					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 トンネル内測量委託	[]

(1 事業目的・内容)

- ・水準測量
高速鉄道構内に設置してある水準点の測定を順次行います。
- ・内空断面測定
シールドトンネルの内空断面を測定します。

測量計画	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	測量頻度	備考
■水準測量												
③北新横浜～岸根公園間(特1)		●									1回/2年	
(1)③横浜～長者町間(特2)	●										1回/2年	
③あざみ野～北新横浜間(A)			●								1回/4年	軌道の 四項目とも 積みがある ため不働
③岸根公園～横浜間(B)				●					●		1回/4年	
(1)長者町間～戸塚間(C)	●				●						1回/4年	
(1)戸塚～湘南台間(D)	●				●						1回/4年	
(4)中山～日吉間(E)	●				●						1回/4年	
■内空断面測定												
③大江橋シールド		●					●				R2の結果で決定	
③平沼町シールド	●	●	●	●	●		※1	※1			下記説明通り	
③鶴見川シールド				●			※2			※2	1回/3年	
(1)常元町シールド	●	●	●	●	●		※3	※3			下記説明通り	
(1)関ノ下シールド	●	●	●	●	●						1回/5年	
(4)駒林シールド	●	●	●	●	●						1回/5年	
(4)高田西シールド	●	●	●	●	●						1回/5年	
③片倉山岳トンネル	●			●			※4				1回/2年	
(1)下永谷山岳トンネル	●			●					※4		1回/5年	
※5④北山田シールド(近接関係)						●					適宜	

※1 平沼町シールドは現在変動がなく、下り線がR2.3に工事終了が決まっているため、R2で初期値測定し、R3で結果を見る。
 ※2 鶴見川シールドは変動がないため、2年に1回から3年に1回に変更
 ※3 常元町シールドは変動がなく、R1現在でシールド補修の設計委託中。工事にて測量を行うため、上下線の工事終了後に測量委託で測定
 ※4 片倉山岳は構築物補修を行った経緯から構築物検査委託でメンテナンス管理をしていて、内空では変動がないため、1年1回から2年1回に変更
 ※5 北山田シールドは近接関係により、地上に大型建築物が建つため2年間測定(変動により適宜)
 最大4年周期で行っていくと4の倍数の年のみ業務量が偏ってしまうため、4年に一度の検査でも変化量が少ないものに関しては5年に1回に変更
 近接関係も視野に入れながら今後測定を行っていく

No.	区 間	経 緯	測点数	測定周期
A	3号線 あざみ野 ～北新横浜	20640 ～11k149	1201	4年
B	3号線 岸根公園 ～横浜	8k200 ～2k720		
C	1号線 長者町 ～戸塚	0k740 ～12k350		
D	1号線 戸塚 ～湘南台	12k350 ～19k810	373	
E	4号線 日吉 ～中山		738	
特1	3号線 北新横浜 ～岸根公園	11k149 ～8k200	144	2年
特2	3号線 横浜 ～1号線 長者町	3号線 2k720 ～1号線 0k740	150	

(2 前年度から変更・見直した点)

業務量の平均化を図るため測量頻度を見直した

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	21,646					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)


【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 漏水補修工事	

(1 事業目的・内容)


土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。

そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。

また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



受け樋設置状況



止水注入状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	74,254					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 廣田係長・千葉係長	

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
5 鋼構造物塗装工事	

(1 事業目的・内容)

鋼板や鋼構造物において、表面の塗装が劣化することによる鋼材の腐食等を防ぐため、塗装の塗替えを実施します。

○補修工事



▲関内・長者町ケーソン耐震鋼板 上り



▲関内・長者町ケーソン耐震鋼板 下り

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	R5年度以降	総 額
事業費	28,767					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 モルタル撤去工事	

(1 事業目的・内容)

開業後35年以上経過している横浜～上永谷間を中心として、中間杭跡などの小規模な浮き及び剥離を生じている箇所について、剥落による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。
そのため、浮き及び剥離箇所を抽出し、計画的に断面補修を行います。



中間杭跡

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,281					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 諸構築修理	9,400

(1 事業目的・内容)

地下鉄の安全運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木建造物の修理を緊急に行います。
また、交通局所有排水管の劣化について、環境創造局に調査を委託しますが、これにより発見された劣化排水管の補修を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	4,750	9,400				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田係長

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 上永谷車両基地内通路舗装補修工事	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地内通路の舗装について、経年劣化等により舗装にクラックが発生しています。通行の安全確保のため、通路の舗装補修の予算を計上します。



(2 前年度から変更・見直した点)

舗装の劣化が進行しているため、補修範囲を拡大

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 廣田係長・千葉係長・近藤	

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
9 通気口地上部補修工事	

(1 事業目的・内容)

鎌倉街道の歩道部に設置してある地下鉄通気口のグレーチング、およびその受枠が老朽化による劣化が激しく、受枠ごと落下する恐れがあります。グレーチングも網目が大きく、女性靴の踵や小さい落とし物などは通過してしまい、重大な事故に繋がる懸念があるため、補修改良を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 01 諸構築物保存費 所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	24,344	21,481	2,863

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
1 材料費	100

(1 事業目的・内容)

・諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	95	100				195
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田・千葉

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
2 構造物検査委託	

(1 事業目的・内容)

- ・構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰを行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全維持を行うことを目的に通常全般検査Ⅱ(状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・4号線シールドトンネルのシールドキャップを近接目視・打音検査を行い、緩みの確認を行います。

※令和2年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	4号線 日吉～中山	十分な照明を用いての徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	4号線 日吉～中山	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の目視及び打音検査
シールドキャップ点検	茅ヶ崎～うい道	目視及び打音検査を行い、緩みの確認

構造物検査計画表

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
複数年契約	2年契約		単年	単年	2年契約		2年契約		2年契約				
■通常全般検査Ⅰ													
1号線(関内～湘南台間)		○		○		○		○		○		○	
3号線(あざみ野～関内間)	○		○		○		○		○		○		○
4号線(中山～日吉間)	○		○		○		○		○		○		○
CADデータ更新				○	○	○							○
■特別全般検査													
1号線(関内～湘南台間)					○	○	11.01km	17.93km					
3号線(あざみ野～関内間)				6.4km	10.12km	18.79km	○	○					
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査Ⅱ(個別検査)													
1号線(関内～湘南台間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号線(あざみ野～関内間)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4号線(中山～日吉間)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■通常全般検査Ⅱ(シールドキャップ)													
4号線(中山～日吉間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・通常全般検査Ⅱ(個別検査)回数を増加した。2年に1回から3回へ増加。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	8,714					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 トンネル内測量委託	

(1 事業目的・内容)

- ・富士見が丘擁壁測定
都筑ふれあいの丘・川和町間のトンネル地上部にある富士見が丘擁壁に変状の追跡調査を目的とし、計画的に(1回/年)測定を実施します。測点数20か所



- ・内空断面測定
センター北～北山田間のシールドトンネルの内空断面測定を行います。(近接協議後適宜)

- (2 前年度から変更・見直した点)
近接協議に伴いシールド上の建物による影響を調査するために内空断面測定を実施

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	612					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 漏水補修工事	

(1 事業目的・内容)

土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



受け樋設置状況



止水注入状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	10,160					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 諸構築修理	2,000

(1 事業目的・内容)

地下鉄の定期運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木構造物の修理を緊急に行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,900	2,000				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 資産活用課 担当者: 田中、斎藤

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	3,292	19,536	△ 16,244

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額					
1 高速鉄道事業会計店舗施設等修繕費						
(1 事業目的・内容)						
<p>高速鉄道事業会計で設置した交通局財産については、交通局が修繕する必要があります。更新時期をむかえた設備が増えてきており、その中でも主に店舗等が使用している設備(建具冷暖房設備など)や店舗内での漏水対応については、有効活用が継続できるよう、年間を通じた修繕を行います。</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	1,568					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 資産活用課 担当者: 田中、斎藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 センター北あいたいメイト設備更新費	

(1 事業目的・内容)

センター北駅あいたいメイトにおける駅構内店舗の「ソフトバンク」の店舗出入口自動ドアについて、エンジン装置部品が一部劣化してきており点検等で不具合が見られることから、突然の故障等に備え、修繕を実施します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	10,450					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 資産活用課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 田中、斎藤	

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 新横浜交通ビルエレベーター機械室塔屋屋上防水改修工事	
<p>(1 事業目的・内容) 新横浜交通ビルの屋上にある機械室の塔屋の防水については、防水層に膨らみが見られることから更新工事を行います。</p> <p>【参考】 新横浜交通ビル(以下「交通ビル」という。)は当局と横浜交通開発株式会社で区分所有をしている建物で、現在地上1階から6階部分を外部事業者テナント貸付しており、年間約5千万円ほどの収入を得ています。 交通ビル建物は現在当局所有部分が築30年(昭和58年築)、交通開発所有部分が築25年(昭和63年築)を経過しており、平成5年に「新横浜交通ビル長期修繕計画」を作成し、順次改修工事を実施しております。 工事の施工については交通ビルの公有財産賃貸借契約に基づき横浜交通開発株式会社が「建物維持管理・改修工事に関する覚書の一部を変更する覚書」の費用負担割合に基づき当局が36.5%、同社が63.5%の費用負担を行います。</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 資産活用課 担当者: 田中、斎藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
<p>4 新横浜交通ビル地下1階粗大ゴミ撤去</p> <p>(1 事業目的・内容)</p> <p>新横浜交通ビルの地下1階機械室の粗大ゴミについては、変電所建設当時に事務所として使用していた際の書類や、現在使用をしておらず、今後も使用の可能性が無い備品などがあるため、撤去を行います。</p> <p>【参考】</p> <p>新横浜交通ビル(以下「交通ビル」という。)は当局と横浜交通開発株式会社で区分所有をしている建物で、現在地上1階から6階部分を外部事業者テナント貸付しており、年間約5千万円ほどの収入を得ています。</p> <p>交通ビル建物は現在当局所有部分が築30年(昭和58年築)、交通開発所有部分が築25年(昭和63年築)を経過しており、平成5年に「新横浜交通ビル長期修繕計画」を作成し、順次改修工事を実施しております。</p> <p>工事の施工については交通ビルの公有財産賃貸借契約に基づき横浜交通開発株式会社が行い、「建物維持管理・改修工事に関する覚書の一部を変更する覚書」の費用負担割合に基づき当局が36.5%、同社が63.5%の費用負担を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 資産活用課 担当者: 田中、斎藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 新横浜交通ビル建物維持管理・改修工事	

(1 事業目的・内容)

平成27年度から令和2年度にかけて階段非常照明器具交換などの緊急修繕の小工事を毎年実施しており、交通開発ではこれまで合計で50万円未満の工事については、単独で工事対応及び費用負担しておりましたが、建物老朽化による工事件数の増加に伴い、当局でも費用を負担するため新たに予算を計上します。

【参考】

新横浜交通ビル(以下「交通ビル」という。)は当局と横浜交通開発株式会社で区分所有をしている建物で、現在地上1階から6階部分を外部事業者テナント貸付しており、年間約5千万円ほどの収入を得ています。

交通ビル建物は現在当局所有部分が築30年(昭和58年築)、交通開発所有部分が築25年(昭和63年築)を経過しており、平成5年に「新横浜交通ビル長期修繕計画」を作成し、順次改修工事を実施しております。

工事の施工については交通ビルの公有財産賃貸借契約に基づき横浜交通開発株式会社が「建物維持管理・改修工事に関する覚書の一部を変更する覚書」の費用負担割合に基づき当局が36.5%、同社が63.5%の費用負担を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	694					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予算額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 建物修繕 部品材料 設備区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の建物修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 30	
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	776,240	749,154	27,086

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料補充事業(営繕分)	1,696

(1 事業目的・内容)

ブルーラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。

【主な補充材料】

蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。

H27	H28	H29	H30	R1	R2
1,868	1,570	1,548	1,796	1,679	1,696
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,679	1,696				3,375
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 材料補充事業(機械分)	2,095

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各種設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。

※購入機材:お客さまトイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等

各年度実績表

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1,991	2,033	1,587	2,170	2,095
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,170	2,095				4,265
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 駅施設等建築修繕工事	28,981

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・2車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
13,676	15,465	15,400	12,747	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅施設等修理(1件修理)】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・3車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
6,672	1,308	9,869	3,776	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅評価対応】

各駅ごとに修繕が必要な案件を挙げてもらい、随時修理を行います。

H30年度	R1年度	R2年度
9,940	9,619	
※実績	※決算見込	

項 目	R2年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	28,981

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	28,358	28,981				57,339
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 サイン等製作及び設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、壁面の製作、貼付用の業務委託を行います。

(千円)

	R1	R2
BL	2,674	
GL	891	
計	3,565	

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,540					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 漏水受樋取付工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

(参考)実績の推移と令和2年度予算要求額

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
10,782	10,770	11,113	10,806	

※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	10,797					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 倉本、大熊、森	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 縦排水管清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための縦排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。

このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
2,690	2,865	3,012	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,849					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
7 駅施設等屋根清掃委託	

(1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

[委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
614	864	1,105	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,105					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
8 駅施設シャッター等保守点検委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各施設(32駅・8変電所・2車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項 目	点検回数	R2予定数量
シャッター	年1回	562か所
電動トップライト	年1回	3か所
防火戸	年1回	80か所
垂れ壁	年1回	86か所
排煙オペレーター	年1回	244か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	15,928					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
9 自動ドア点検業務委託	1,810

(1 事業目的・内容)

ブルーライン26施設64か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

H29	H30	R1	R2
1,112	1,582	1,380	1,810
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,628	1,810				3,438
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
10 駅施設シャッター修理	4,280

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・8変電所・2車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

H27	H28	H29	H30	R1	R2
3,176	4,809	3,891	5,242	3,487	4,280
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,487	4,280				7,767
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
11 自動ドア修理	1,238

(1 事業目的・内容)

ブルーライン26施設56か所の自動ドアの定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

H28	H29	H30	R1	R2
2,003	1,129	581	1,512	1,238
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,512	1,238				2,750
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
12 片倉町駅ほか改修工事	100,180

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめ令和元年度に設計を行い、令和2年度に工事を行います。

工事内容	工事箇所
床・階段湧水対策	片倉町駅、日吉駅、高島町駅
天井漏水対策	三ツ沢下町、伊勢佐木長者町駅、日吉駅
上屋屋根張替え、シール打ち換え	伊勢佐木長者町駅
鉄骨階段改修	伊勢佐木長者町駅、三ツ沢変電所
腰壁亀裂補修	舞岡駅
ホーム幕板改修	上永谷駅
防音材張替え	新横浜変電所
門扉更新	高島変電所
外壁補修	最戸変電所
犬走り天井ボード更新	新羽駅

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費		100,180				100,180
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 高田駅ほか改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することが出来なくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて令和2年度に設計を行い、令和3年度に工事を行います。

BL修繕	新羽車両基地：鉄骨階段補修
	ハートフルスペース（牛久保変電所）：屋上防水
GL修繕	高田駅：側溝漏水対策
	中山駅：出入口上屋屋根防水、側溝新設（第2出口）

【事業費】

	R2	R3
設計	→	
工事		→
BL修繕		
GL修繕		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
14 建具更新工事	

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可となった箇所の更新を行うものです。

【更新履歴】0

年度	該当施設	か所数	金額(千円)	備考
H29	新横浜駅、新羽駅、新横浜中間換気所	3	5,154	実績
H30	横浜駅、伊勢佐木長者町駅、戸塚駅、港南中央駅、舞岡駅、篠原中間換気所、大江橋中間換気所	7	11,446	実績
R1	横浜駅、高島町駅、伊勢佐木長者町駅、舞岡駅、踊場駅、片倉中間換気所	6	4,947	決算見込
R2	上永谷保守管理所、新羽保守管理所、伊勢佐木長者町駅、センター北駅	4		予算

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	4,947					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
15 シャッター駆動装置更新その他工事	

(1 事業目的・内容)

駅構内に設置している防煙・防火シャッターは、火災発生時には煙感知器、熱感知器に連動し、自動降下することで延焼を防止する重要な設備です。これらのシャッターについて、毎年定期点検を実施していますが、経年劣化による不具合の発生箇所がありその都度、調整や応急処置を行っています。しかし、現在では開閉機(モーターを含む駆動に係る装置一式)の部分補修や部品交換が不可能な箇所(構造部)に不具合が見られ、開閉機一式の更新が必要です。不具合を放置した場合、火災発生時などにブレーキが解放せずシャッターが自動降下しない、または通常開いているシャッターがブレーキ故障で火災発生等に関係なく勝手に降下してしまうなど、重大な事故に繋がることから、開閉機の更新工事を行います。

また、建築基準法施行令第112条第14項の改正により、更新の際には火災発生時のシャッター降下時の設備として避難時停止装置(自動閉鎖装置・危害防止用連動中継器・電気式手動閉鎖装置・コードリール・座板スイッチ)の設置が義務付けられましたので、合わせて新設を行います。

なお、令和2年度は中川駅(11か所)、高島町駅(6か所)、舞岡駅(9か所)の計26か所について更新工事を行います。

年度	H30	R1	R2
施設名	岸根公園駅(12)	あざみ野駅(18)	中川駅(11)
	片倉町駅(15)	仲町台(4)	高島町駅(6)
	三ツ沢上町駅(5)	北新横浜(2)	舞岡駅(9)
数量(か所)	32	24	26
事業費	26,724	32,820	

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	32,820					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
16 自動ドア駆動装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

多機能トイレ等に設置してある自動ドアは、「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」の考え方により設置しています。毎年定期点検を実施していますが、経年劣化による不具合の発生箇所がありその都度、調整や応急処置を行っています。しかし設置から約15年たちメーカーの交換推奨時期(10年)を経過しているため、モーター(ドアエンジン)、コントローラー、ハンガーレール、ドアセンサー等駆動装置一式を更新し安全な開閉と長寿命化を図ります。
なお、令和2年度はセンター南(2か所)、吉野町駅(1か所)、蒔田駅(1か所)の計4か所を更新します。

年度	H30	R1	R2
施設名	下永谷(2)	高島町(1)	センター南駅(2)
	長者町(2)	桜木町(1)	吉野町駅(1)
		舞岡(1)	蒔田駅(1)
		上永谷基地修繕工場(1)	
数量(台)	4	4	4
事業費	2,060	2,515	
	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,515					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	所属：建築課 担当者：倉本、大熊、森
項：01 営業費用 目：10 線路保存費	

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
17 昇降機保守委託事業(BL)	207,277

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。
 なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約(定期点検のほか補修・緊急対応を含む)とし、お客様へのご不便を軽減させます。

○内訳

エレベーター		エスカレーター	
項 目	台数	項 目	台数
BL32駅+2基地エレベーター点検保守	80	BL27駅エスカレーター点検保守・清掃	125
合 計	80	合 計	125

○契約年表

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
新羽駅ほか12駅	3年契約		3年契約		3年契約	
戸塚駅ほか3駅	3年契約		3年契約		3年契約	
中川駅	3年契約		3年契約		3年契約	
関内駅ほか7駅	3年契約			3年契約		
センター南駅ほか8駅及び	3年契約			3年契約		
下飯田駅ほか2駅	3年契約			3年契約		
阪東橋駅ほか2駅及び1か	1年契約	3年契約		3年契約		
北新横浜駅ほか1駅	1年契約	3年契約		3年契約		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「建築基準法」法定点検__年1回
 「昇降機の維持及び運行の管理に関する指針」定期点検__月1回

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	192,919	207,277	229,006	221,369	219,994	1,070,565
債務負担設定	25,160	237,330	177,517	25,143	237,330	702,480

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
18 排水槽その他清掃業務委託	21,006

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	49か所	排水槽清掃 5か所(1回/年)
		汚水槽清掃 43か所(2~6回/年)
		中水槽清掃 1か所(1回/年・1回/3年)
受水槽清掃業務委託	9か所	受水槽清掃 9か所(1回/年)
浄化槽維持管理委託	1か所	浄化槽清掃 1か所(1回/年)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

汚水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」
 受水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」、
 「水道法施行規則」、「横浜市簡易専用水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的飲料水の
 確保に関する条例施行規則」
 浄化槽:「浄化槽法」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	18,246	21,006				39,252
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、森

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
19 高速鉄道機械設備等保守委託事業	64,850

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法状態に維持管理します。

○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	34か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年4回＋冷凍機運転監視
換気設備	34か所	排気送風機 年2～3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	35か所	電気温水器、排水ポンプ 年1～2回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・令和元年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額
- ・パネル形フィルター(立場駅、中田駅、岸根公園駅)の交換を追加(換気設備)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	60,806	64,850				125,656
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
20 防災設備保守委託事業	37,378

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	34か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、泡消火、CO2消火、粉末消火、排煙 年2回 各種放水試験 年1回 消火栓テスト、連結送水管耐圧試験 3年検査

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・総合連動試験を2回/年から1回/年に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法及び消防施行規則

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	21,102	37,378				58,480
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
21 排水ポンプほか重要設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	46か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回、月1回 信号機器室系空調機 年4回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・令和元年度予算に対し1か月点検を追加増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	14,192					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
22 除害施設保守委託事業	10,705

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
車両基地除害施設	3 か所	保守点検 年4回
		清掃・処分 年2回

(2 前年度から変更・見直した点)

見積書ベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	9,777	10,705				20,482
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
23 風水害対策設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を、整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○保守点検内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
浸水防止機	44か所	上大岡から吉野町間通風口 年1回
鶴見川防水扉	2か所	新横浜から北新横浜間4門 年2回
気象観測装置	4か所	地震計、風向風速計、雨量計 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・防水扉保守点検委託は令和2年契約金額を計上(3年契約の3年目(2,365千円))
- ・気象観測装置保守点検委託は令和2年契約金額を計上(3年契約の2年目(2,502千円))

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・横浜市高速鉄道運転取扱規程(防水扉、気象観測装置、浸水防止機)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	22,172		6,998	6,998	7,097	
債務負担設定	2,562		4,730	5,406	3,960	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
24 修繕作業費	83,690

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧・衛生器具の交換

各年度実績表

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
71,228	76,458	103,385	83,690

※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

「H30年度 修理実績計上」及び「衛生器具修理委託費計上」のため、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	54,293	83,690				137,983
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
25 防災設備改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、各所で発生した火災の延焼を防止するための防火区画が設定されています。その防火区画壁または床を貫通するのダクトには、防火ダンパーを設置することが法令上規定されています。防火ダンパーの多くは、開業当初から設置されているもので定期点検時に調整や応急措置を行ってききましたが、著しい錆の発生が見られ、ダンパー軸が固着している箇所や完全な遮閉ができない箇所があります。修理では機能回復が困難なため、本体の更新を行い、万一の火災発生時に延焼の拡大にならないよう安全を確保します。

防火ダンパー更新計画

駅名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
桜木町駅(15)	工事				
片倉町駅(78)					
戸塚駅(50)	設計	工事			
舞岡駅(24)					
下永谷駅(14)					
湘南台駅(44)					
下飯田駅(1)					
立場駅(18)		設計	工事		
中田駅(13)					
踏場駅(19)					
片倉町駅(10)					
あざみ野駅(43)		設計			
岸根公園駅(41)				工事	
三ツ沢下町駅(13)			設計		
横浜駅(15)					
高島町駅(30)					
新横浜中間(18)				設計	工事
高島町駅 (消火配管)					
設計費	2,123	2,498	3,957		
工事費	46,016	54,147	55,398		
計	48,139	56,645	59,355	86,629	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,957					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
26 防災設備改修工事(工事)	

(1 事業目的・内容)

駅には、各所で発生した火災の延焼を防止するための防火区画が設定されています。その防火区画壁または床を貫通するのダクトには、防火ダンパーを設置することが法令上規定されています。防火ダンパーの多くは、開業当初から設置されているもので定期点検時に調整や応急措置を行ってきましたが、著しい錆の発生が見られ、ダンパー軸が固着している箇所や完全な遮閉ができない箇所があります。修理では機能回復が困難なため、本体の更新を行い、万一の火災発生時に延焼の拡大にならないよう安全を確保します。

防火ダンパー更新計画

駅名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
桜木町駅(15)	工事				
片倉町駅(78)					
戸塚駅(50)	設計	工事			
舞岡駅(24)					
下永谷駅(14)					
湘南台駅(44)					
下飯田駅(1)		設計	工事		
立場駅(18)					
中田駅(13)					
踊場駅(19)					
片倉町駅(10)					
あざみ野駅(43)					
岸根公園駅(41)			工事		
三ツ沢下町駅(13)		設計			
横浜駅(15)					
高島町駅(30)					
新横浜中間				設計	工事
高島町駅 (消火配管)					
設計費	2,123	2,498	2,790		
工事費	46,016	54,147	56,565		
計	48,139	53,813	59,355	86,629	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	55,398					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	188,953	196,285	△ 7,332

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額					
1 材料補充事業(営繕分)	245					
(1 事業目的・内容)						
グリーンラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します						
【主な補充材料】 蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。						
H27	H28	H29	H30	R1	R2	
183	243	264	288	237	245	
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込		
(2 前年度から変更・見直した点)		(3 根拠法令・規程、現場の意見等)		(4 年次表)		
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	237	245				482
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 材料補充事業(機械分)	273

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。

※購入機材:お客さまトイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等

各年度実績表

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
146	367	189	395	273
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	395	273				668
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 駅施設等建築修繕工事	10,323

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1,503	4,411	4,406	5,695	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅施設等修理(1件修理)】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
2,030	6,123	4,204	1,007	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅評価対応】

各駅ごとに修繕が必要な案件を挙げてもらい、随時修理を行います。

H30年度	R1年度	R2年度
570	552	
※実績	※決算見込	

項 目	R2年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	10,323

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	7,254	10,323				17,577
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 サイン等製作及び設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、壁面の製作、貼付用の業務委託を行います。

(千円)

	R1	R2
BL	2,674	
GL	891	
計	3,565	

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	846					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 漏水受樋取付工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

(参考)実績の推移と令和2年度予算要求額

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
2,461	5,778	5,618	

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	6,382					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、森

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 縦排水管清掃委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための縦排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。

このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
773	771	811	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

直近3年間の平均額を予算として計上したが、日吉駅で突発的な排水管のつまりが多発しており、これまでの予算の積み方では対応できないため90万円を追加で計上した。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	985					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 駅施設等屋根清掃委託	

(1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

[委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度予算
46	96	89	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	89					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
8 駅施設シャッター等保守点検委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各施設(8駅・1変電所・1車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項 目	点検回数	R2予定数量
シャッター	年1回	115か所
電動トップライト	年1回	0か所
防火戸	年1回	21か所
垂れ壁	年1回	12か所
排煙オペレーター	年1回	14か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,076					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
9 自動ドア点検業務委託	759

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

H29	H30	R1	R2
618	679	666	759
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	746	759				1,505
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
10 駅施設シャッター修理	546

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト
排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

H28	H29	H30	R1	R2
497	441	699	364	546
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	364	546				910
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
11 自動ドア修理	66

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアの定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

H28	H29	H30	R1	R2
65	44	87	65	66
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	65	66				131
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

12 片倉町駅ほか改修工事

(1 事業目的・内容)

本工事では日吉駅で発生している天井漏水等の対策のために、天井内への樋の設置、及び、床側溝掘りなどを行います。

工事内容	工事箇所
天井漏水対策等	日吉駅

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 高田駅ほか改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することが出来なくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて令和2年度に設計を行い、令和3年度に工事を行います。

BL修繕	新羽車両基地：鉄骨階段補修
	ハートフルスペース（牛久保変電所）：屋上防水
GL修繕	高田駅：側溝漏水対策
	中山駅：出入口上屋屋根防水、側溝新設（第2出口）

【事業費】

	R2	R3
設計	→	
工事		→
BL修繕		
GL修繕		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
14 昇降機保守委託事業(GL)	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。
 なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約(定期点検のほか補修・緊急対応を含む)とし、お客様へのご不便を軽減させます。

○内訳

エレベーター		エスカレーター	
項 目	台数	項 目	台数
GL10駅エレベーター点検保守	21	BL10駅エスカレーター点検保守・清掃	46
合 計	21	合 計	46

○契約年表

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
新羽駅ほか12駅	3年契約		3年契約			3年契約

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「建築基準法」法定点検__年1回
 「昇降機の維持及び運行の管理に関する指針」定期点検__月1回

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	68,095					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
15 排水槽その他清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	10か所	汚水槽清掃 10か所(1回/年)
受水槽清掃業務委託	-	なし
浄化槽維持管理委託	-	なし

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

汚水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,763					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、森

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
16 高速鉄道機械設備等保守委託事業	13,658

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法な状態に維持管理します。

○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	11か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年2回＋冷凍機運転監視
換気設備	11か所	排気送風機 年2～3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	9か所	電気温水器、排水ポンプ 年1～2回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成30年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額
- ・新設冷房付待合所(北山田)の保守点検を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	12,498	13,658				26,156
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
17 防災設備保守委託事業 (GL)	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	9か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、粉末消火、排煙、防火シャッター、年2回各種放水試験 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・総合連動試験を2回／年から1回／年に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法及び消防施行規則

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	4,070					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
18 排水ポンプほか重要設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	11か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回、月1回 信号機器室系空調機 年4回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・令和元年度予算に対し1か月点検を追加増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,021					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
19 除害施設保守委託事業	3,245

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
車両基地除害施設	1 か所	保守点検 年 4 回
		清掃・処分 年 2 回

(2 前年度から変更・見直した点)

見積書ベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,502	3,245				5,747
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
20 風水害対策設備保守委託事業	864

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を、整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
気象観測装置	1か所	地震計、風向風速計、雨量計 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・横浜市高速鉄道運転取扱規程(気象観測装置)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	404	864	831			
債務負担設定	850					

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
21 修繕作業費	22,977

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧、衛生器具の交換

各年度実績表

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
5,902	19,755	22,875	22,977

※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

「H30年度 修理実績計上」及び「衛生器具修理委託費計上」のため、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	10,628	22,977				33,605
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
22 空調熱源機器分解整備	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅及び車両基地に設置している、駅冷房用及び職員諸室空調用大型熱源機の分解整備を計画的に実施し、故障防止を図ることで、夏季冷房シーズンなどの駅環境及び執務環境を維持します。

熱源機器は、ターボ冷凍機、冷温水発生機、チリングユニットを軸として、冷却塔・循環ポンプ・ファンコイルユニット等で設備構成しています。供用開始または分解整備後から運転時間を経過した大型熱源機は、日常点検で確認ができない機器内部に摩耗や汚れ等の劣化が進み、運転性能の低下を招くため、定期的な本体分解整備が不可欠です。製造メーカーが推奨する分解整備の時期(7年)を超えており、大型熱源機に突発的な故障が発生した場合、ホーム等駅冷房部や駅務諸室などに多大な影響を及ぼし、お客さまサービスの低下や職員の執務環境の低下を招きます。このため、運転時間を経過した熱源機器類の分解整備を順次行います。

(1) ターボ冷凍機・冷温水発生機 分解整備

実施年度	元年度	2年度	3年度
場所・機器名	-	-	-

(2) チリングユニット 分解整備

実施年度	元年度	2年度	3年度
場所・機器名	-	中山(駅冷房用)※H20年度設置	-
	-	空冷チラー1台	-

(2 前年度から変更・見直した点)

GL機器整備実施のため、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	14,609					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 上永谷保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 平塚、坪井	

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		238	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 上永谷施設区庁用車 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
<p>庁用車の部品を購入する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 上永谷施設区庁用車 車検・法定点検	
(1 事業目的・内容) 応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。 ・国土交通省令に基づく点検 車検及び法定点検 3台(応急車2台・庁用車1台)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 上永谷施設区庁用車 修理費	50
(1 事業目的・内容) 庁用車を修理する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予算額	1,249	1,179	70

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 自動車整備 部品材料 施設区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の自動車整備に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

【 事 業 内 容 】	(単位:千円)
2 自動車点検整備 施設区	2年度予算額
	510

(1 事業目的・内容)

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車 名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車 検	計
エキスパート 400せ3518	1年				
キャラバン 800つ19	1年				
高所作業車 800そ5798	2年				
高所作業車クレーン部 デュトロ	毎年				
合 計					510

(2 前年度から変更・見直した点)

エキスパートの廃車予定を取消

(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)

応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査

令和2年度 修繕費 事業計画書

様 式 日

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：39 その他修繕費	所属：新羽保守管理所 担当者： 本間

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額						
3 自動車修理 施設区	50						
(1 事業目的・内容)							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自動車修理</td> <td style="text-align: center;">計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自動車修理</td> <td style="text-align: center;">随時</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>	自動車修理	計	自動車修理	随時		50	
自動車修理	計						
自動車修理	随時						
	50						
(2 前年度から変更・見直した点)							
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)							

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 本間

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額						
4 ミニ地下鉄修理 施設区	48						
(1 事業目的・内容)							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ミニ地下鉄修理</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミニ地下鉄修理</td> <td>随時</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>		ミニ地下鉄修理		計	ミニ地下鉄修理	随時	48
ミニ地下鉄修理		計					
ミニ地下鉄修理	随時	48					
(2 前年度から変更・見直した点)							
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)							

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 本間

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額						
5 衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理 施設区	10						
(1 事業目的・内容)							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</td> <td>随時</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理		計	衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時	10	
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理		計					
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時	10					
(2 前年度から変更・見直した点)							
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)							

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額																																				
6 自動車点検整備 設備区	416																																				
(1 事業目的・内容)																																					
<p>応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。</p> <p>国土交通省令に基づく点検</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>車名</th> <th>車検周期</th> <th>6ヶ月点検</th> <th>12ヶ月点検</th> <th>車検</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノア 500つ1209</td> <td>2年</td> <td colspan="2">31年度廃車予定</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エブリイ 480て9602</td> <td>2年</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャラバン 400ふ4335</td> <td>1年</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボンゴ 400ほ1572</td> <td>1年</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">合 計</td> <td>416</td> </tr> </tbody> </table>		車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計	ノア 500つ1209	2年	31年度廃車予定			0	エブリイ 480て9602	2年					キャラバン 400ふ4335	1年					ボンゴ 400ほ1572	1年					合 計					416
車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計																																
ノア 500つ1209	2年	31年度廃車予定			0																																
エブリイ 480て9602	2年																																				
キャラバン 400ふ4335	1年																																				
ボンゴ 400ほ1572	1年																																				
合 計					416																																
(2 前年度から変更・見直した点)																																					
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)																																					
<p>応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査</p>																																					

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目		担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

【事業内容】		(単位: 千円)
		2年度予算額
7 自動車修理 設備区		80
(1 事業目的・内容)		
自動車修理		計
自動車修理	随時	80
(2 前年度から変更・見直した点)		
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)		
応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査		

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 機器類修理 設備区	95
(1 事業目的・内容)	
機器類修理	
酸素欠乏等の危険個所測定器の校正	計
随時	95
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
9 衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理 設備区	10
(1 事業目的・内容)	
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	計
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理 随時	10
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 川和保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 今野・阿部	

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	570	525	45

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 その他修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急のその他修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 自動車点検整備・修理	540
(1 事業目的・内容)	
庁用車について、法令に基づく車両検査や法定点検の実施及び故障修理に必要な費用	
保有庁用車	
・アトラス(800そ7025)	
・エブリイ(480そ707)	
・キャラバン(400み1270)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 難波

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	80,393	28,066	52,327

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料補充	110

(1 事業目的・内容)

緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	105	110	110	110	110	545
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 難波

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 自動車点検整備等	501

(1 事業目的・内容)

フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。

- ・厚生労働省令に基づく点検
特定自主点検 フォークリフト 2台
- ・フォークリフトの緊急修理費

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	409	501	501	501	501	2,413
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 難波

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 工車用車両点検整備等	79,586

(1 事業目的・内容)

工車用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。

- ・工車用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
- ・工車用車両年次点検整備(乙検):年1回
- ・工車用車両ブレーキ調整:制輪子のストロークが規定値以下に摩耗後、随時交換
- ・工車用車両修理:突発的な故障時の修理に対応
- ・工車用車両クレーン自主点検:C型モーターカーのクレーンの自主点検

○積算(単価及び数量は実績による)

オーバーホールは以下の予定表に従い行う。

種別	型番	使用年数	R元	R2	R3	R4	R5
モーターカー A型	A-6	28	年				
	A-7	28	年				
	A-8	28	年				
モーターカー C型	C-5	13	年				OH3
	C-7	9	年			OH2	
	C-8	8	年	OH1			
	C-9	8	年				
	C-10	4	年			OH1	
	C-11	4	年			OH1	
	C-12	-	年				
C-13	-	年					
作業台車	No.7	9	年				
	No.8	7	年				
	No.9	4	年				
	No.10	4	年				
	No.11	1	年				
軌道清掃車(超高压)	No.2	9	年				
道床清掃車	No.3	3	年				
ダンプトラック	D-10,11,12	22	年				
レール運搬車	TR-4,5,6	5	年				
軌道検測車	B-トラ	6	年	OH1			

(2 前年度から変更・見直した点)

A-5,C-2,C-4,作業台車No.4は今年度廃棄予定のため削除いたしました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	27,366	79,586				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 甲州

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
4 その他機器点検整備等	196

(1 事業目的・内容)

直営作業で使用する測量機器や計測機器類の点検、校正費用
水準測定器、列車動揺測定器、自動塗油装置点検整備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	186	196				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 難波

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	8,779	34,308	△ 25,529

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料補充	121

(1 事業目的・内容)

緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	115	121	121	121	121	599
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 自動車事業費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 難波
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 自動車点検整備等	250

(1 事業目的・内容)

- フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。
- ・厚生労働省令に基づく点検
 特定自主点検 フォークリフト 1台
 - ・フォークリフトの緊急修理費

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	204	250				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 難波

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 工車用車両点検整備等	7,247

(1 事業目的・内容)

工車用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。

- ・工車用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
- ・保守用車両の修理: 15t口及び作業台車の高圧ホース劣化による交換
- ・工車用車両年次点検整備(乙検):年1回
- ・工車用車両クレーン自主点検:O型モーターカーのクレーンの自主点検
- ・工車用車両ブレーキ調整:工車用車両のブレーキ調整
- ・工車用車両修理:突発的な故障時の修理に対応

○積算(単価及び数量は実績による)

- ・オーバーホールは以下の予定表に従い行う。

種別	型番	使用年数	R元	R2	R3	R4	R5	業者
モーターカーA型	A-9	8年					OH2	堀川
モーターカーC型	C-6	12年	OH2					北陸
作業台車	No.6	9年						伊岳
軌道清掃車	No.1	9年					OH2	堀川
軌道検測車	G-tra	10年				OH2		伊岳
15t口	T-7	12年						北陸

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・15t口の高圧ホースの劣化に加え、作業台車の高圧ホースの劣化に伴い交換を実施。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	31,625	7,247				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額					
4 その他機器点検整備等	1,161					
(1 事業目的・内容)						
<p>直営作業等で使用する測量や計測機器類の点検費用 水準測量器、列車動揺測定器、摩擦調整材塗布装置の点検 自動塗油装置点検整備 レール断面測定器の校正、修理 ギャップゲージ調整</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
<p>摩擦調整材塗布装置のバッテリーレス化を2台分を削除 摩擦調整材塗布装置点検の点検内容の変更(ホース交換はR2年度には実施しない)</p>						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,364	1,161				
債務負担設定						

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 総務課
目: 10 線路保存費		担当者名: 橋本

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額	177	174	3

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	177	再生紙の購入
合 計	177	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 経営管理課
目: 10 線路保存費	担当者名: 佐久間

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B		
予算額	14	15	△	1	○ ブルーライン
					グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
57 通信運搬費	11	旧牛久保厚生会館ケーブルネット使用料
68 保険料	3	旧牛久保厚生会館に係る市有物件災害共済会保険料
合 計	14	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属：人事課
目：10 線路保存費	担当者名：佐藤

(単位：千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	
予算額	5,297	5,107	190	<input type="checkbox"/> ブルーライン
				<input type="checkbox"/> グリーンライン
				<input type="checkbox"/> 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	5,297	線路保存費支弁職員に対する被服貸与分(新規採用・異動・定期貸与)
合 計	5,297	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属： 人事課
目：10 線路保存費	担当者名： 山口

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額	644	504	140

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料	644	空気環境測定、身体機能検査
合 計	644	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属： 人事課 担当者名： 山口

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	
予算額	153	184	△ 31	

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料	153	空気環境測定、身体機能検査
合 計	153	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所 属： 上永谷保守管理所 担 当 者 名： 江田 坪井 平塚

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B		
予算額	8,310	6,610	1,700	○	ブルーライン
					グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂糸屑費	742	MC燃料(軽油)、レール清掃車ボイラー燃料(灯油)、保守用ウエス ほか
45 自動車燃料費	412	緊急自動車・庁用車用ガソリン及び軽油(軽油引取税)
49 備用品費	2,267	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	1,354	ガス料金、上・下水道料金、灯油(雪害対策用)
56 旅費	418	市内・市外出張旅費、立会検査旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	250	電話料金、切手代
58 印刷製本費	535	軌道構造一覧図(線路管理図)
63 委託料	889	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	378	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	656	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	267	緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠償保険料
73 自動車重量税	34	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	108	有料駐車場代
合 計	8,310	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属：新羽保守管理所 担当者名：本間

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	○	ブルーライン
予算額		19,082			グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂糸屑費	432	軽油、灯油、タオルウエス
45 自動車燃料費	1,124	庁用車用ガソリン、軽油
49 備用品費	3,385	小額物品、事務及び作業用備品、消耗品、工具類
51 光熱水費	5,644	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	554	市外・市内出張、各種講習・研修、立会検査等出張旅費
57 通信運搬費	617	電話料金、切手代
58 印刷製本費		軌道構造一覧図
60 負担金	39	高圧ガス協会年会費
63 委託料	2,600	建物清掃、産業廃棄物処理委託
64 手数料	1,879	各種講習・研修受講料、庁用車車検印紙代、高圧ガス・簡易水道法定検査費
65 賃借料	1,558	寝具リース、複写サービス
68 保険料	570	庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	62	庁用車重量税
96 雑費	530	有料駐車場利用料
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属：新羽保守管理所
目：10 線路保存費	担当者名：本間

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額		130	

	ブルーライン
○	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	10	小額物品
64 手数料		高圧ガス法定検査費
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属： 川和保守管理所 担当者名： 今野・阿部

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額	7,764	7,148	616

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂糸屑費	696	軽油、ウェス等
45 自動車燃料費		庁用車の燃料
49 備用品費	3,020	小額物品、共通物品、工具類等
51 光熱水費	675	水道代、白灯油
56 旅費	314	出張旅費
57 通信運搬費	102	電話料金、切手代等
58 印刷製本費		軌道構造一覧作成費
63 委託料	875	建物清掃委託。産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	433	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	578	寝具及び複写機賃借料
68 保険料	293	庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	39	庁用車自動車重量税
96 雑費	50	有料駐車場代
合 計	7,764	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属： 施設課
目：10 線路保存費	担当者名： 水嶋

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額		121,651	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
41 資産減耗費		工事車両引取り処分
60 負担金	2,245	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	95,353	除草作業、軌道管理システム保守管理業務ほか
68 保険料	3,129	建物総合損害保険料、公営地下鉄土木構造物保険
96 雑費	84	自動車借上げ費用(個人分)
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

実績、見積等を参考に算出。

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所 属： 施設課
目：10 線路保存費	担 当 者 名： 水嶋

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額	24,337	14,354	9,983

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
60 負担金	413	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	22,897	除草作業、軌道管理システム保守管理業務ほか
68 保険料	1,000	公営地下鉄土木構造保険
96 雑費	27	自動車借上げ費用(個人分)
合 計	24,337	

(2 編成するにあたっての考え方)

実績、見積等を参考に算出。

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担当	
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	所属： 建築課	
目：10 線路保存費		担当者名： 倉本、大熊、森	

(単位：千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額		400	

	ブルーライン
	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料		非常機材点検委託等
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

63 委託料の設備区計器較正料
設備区で使用している騒音計・デジタル温度計等の計器類は、正しい計測値で計測するために定期的な較正が必要です。
較正実施のための費用を計上します。

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属： 建築課 担当者名： 倉本、大熊、森

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額		7,329	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	1,792	非常機材補充事業
63 委託料		非常機材点検委託等
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属： 建築課
目：10 線路保存費	担当者名： 倉本、大熊、森

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額		439	

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	400	非常機材補充事業
63 委託料		非常機材点検委託等
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属：建設改良課
目：10 線路保存費	担当者名：早川

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	○	ブルーライン
					グリーンライン
予算額	99	590	△ 491		共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
57 通信運搬費	51	LAN回線使用料
63 委託料	48	特別調査
合 計	99	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所 属： 新横浜工事事務所
目：10 線路保存費	担 当 者 名： 吉本

(単位：千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	
予算額	5,994	16,374	△ 10,380	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	437	
51 光熱水費	150	
56 旅費	274	
57 通信運搬費	62	
58 印刷製本費	51	
61 会議費	6	
63 委託料	2,051	
64 手数料	124	
65 賃借料	2,815	
68 保険料	24	
合 計	5,994	

(2 編成するにあたっての考え方)

令和元年度実績を参考に算出しました

(3 新規項目・主要事業等)